

平成30年12月10日

人吉市議会議長 田中 哲 様

厚生委員会委員長 高瀬 堅一

「市民と議会の意見交換会」実施報告書

このことについて、「市民と議会の意見交換会」を実施しましたので、人吉市議会「市民と議会の意見交換会」実施要綱第8条第1項の規定により提出します。

開催日時	平成30年11月22日（木）16時00分～17時00分
会 場	人吉市総合福祉センター
出席議員	【委員長】高瀬堅一 【副委員長】永山芳宏 【委員】田中 哲、三倉美千子、井上光浩、塩見寿子
団体名	人吉市民生委員児童委員協議会
参加人数	13名
テーマ	民生委員の担当地区割りについて 見守りに関する個人情報の扱いについて
意見交換会の概要	<p>まず、源嶋民生委員児童委員協議会会長、高瀬厚生委員会委員長が挨拶を行い、1 民生委員の担当地区割りについて、2 見守りに関する個人情報の扱いについての問題提起を受け、それぞれに意見を交換した。</p> <p>担当地区割りについては、改選のたびに欠員があること、1人で470世帯を持っているケースもあり過重負担になっていること、遠隔地では所帯数が少ないが広くて回るのに時間がかかる悩みがあること、小さい町は合区をしなければならないかもなどの課題が出された。</p> <p>個人情報で民生委員に入ることなく困る事例もいろいろ出された。一人暮らしの親を子どもが引き取って連れて行ったことが、こちらには知らされなかった、病院に入院した人の見舞いに行っても個人情報だからと教えてもらえなかった、空き家の調査をしてもその数を報告してもらえない、こちらからはいろいろな情報を出すのだが必要な情報を知ることができないとの事例が出された。</p>

また、民生委員が日ごろの活動で感じることや行政への要望も出された。「25軒の町内で6軒が空き家になった。草が茂り危険」「避難訓練に参加した人に訓練の反省（良かったことや教訓）を教えてほしい。訓練の内容が毎年違うと、反省が生かされないのではないか」「介護サポーター研修を受けるよう働きかけている。一人ひとりがその気にならないと健康は守れないと思う」「子ども食堂を始めた」「一人暮らしの世帯が増えている。孤独死をなくしたい」「3期務めて相談がくるようになった。誰に相談をしたらいいか迷っている人に、民生委員はそのためにいるとわかってほしい」

議員からは、民生委員の活動は多岐にわたるので、民生委員の仕事は何か、一度整理する必要があるのではないかと、過重負担になりがちであるが、それが後継者が出てこない原因の一つであるとの意見が出た。また、空き家等の情報は行政側が教えなくてはいけない、情報は共有すべきであると意見が出た。議員も民生委員さんと同じように市民の方から相談を受けることが多い。最後の最後までやらないと解決には至らない。一緒にやっていきましょうとの発言もあった。

最後に「民生委員さんが活動しやすくするためには？」と議員からの質問に、「『大変な』とねぎらってもらうだけでも元気になる」「自分は先輩から育ててもらった」などの体験が話された。